



未来探究祭 2025



未来探究祭^{さい}とは？

中高生がデータを活用しながら地域探究を行う授業パッケージ「未来探究ゼミナール」。
その受講校が参加できる成果発表の場が「未来探究祭」です。
2025年度は、全国から281チームのエントリーがありました。

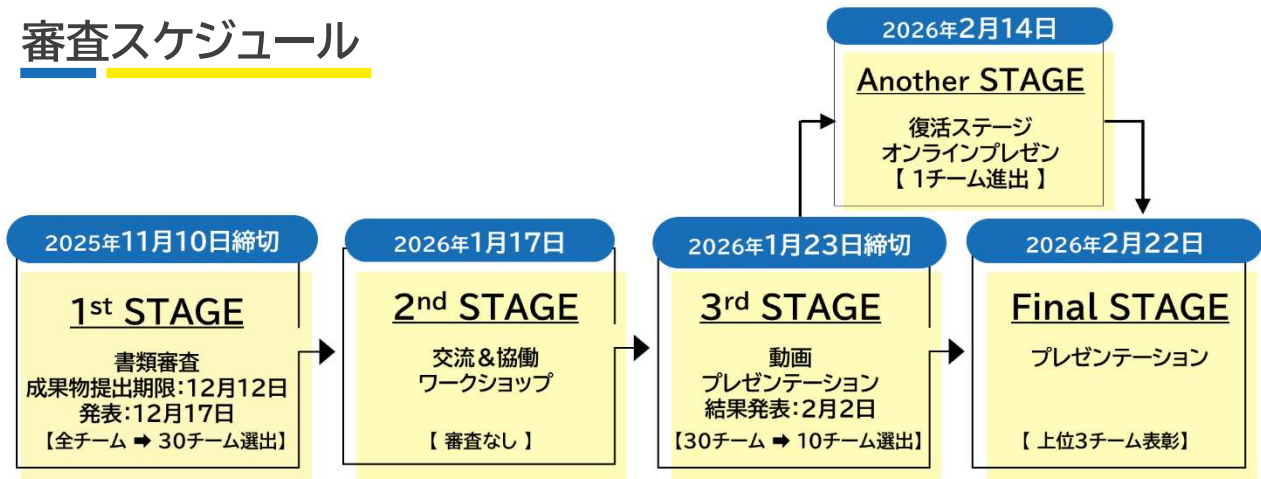
- 主催：一般社団法人 次世代教育ネットワーキング機構
- 運営：株式会社 JTB



未来探究ゼミナール・未来探究祭は
「ジャパン・ツーリズム・アワード」2025にて審査委員特別賞を受賞しました

審査スケジュール・これまで実施の内容

審査スケジュール



1st STAGE ~授業で考えた内容をエントリーシート、成果物にまとめる~

エントリー281チームから提出のあった、①エントリーシート ②未来探究ゼミナールで作成した成果物（ポスター・スライド）をもとに、2nd STAGEに進む30チームが選出されました。

2nd STAGE ~オンライン交流会 / 学校の枠を超えた、他校生徒との交流・協働ワーク~

2026年1月17日(土)

オンライン開催 14:00-17:00

参加12校 | 中高生122名

※都道府県コード順

北海道 | 北海道岩見沢東高等学校

茨城県 | 茨城県立勝田中等教育学校

埼玉県 | 昌平高等学校

埼玉県 | 西武台高等学校

埼玉県 | 星野高等学校

千葉県 | 昭和学院高等学校

東京都 | 成立学園高等学校

神奈川県 | 浅野高等学校

福井県 | 福井県立金津高等学校

愛知県 | 愛知県立岡崎商業高等学校

徳島県 | 徳島県立徳島北高等学校

大分県 | 岩田高等学校



修学旅行生に人気のお土産グランプリ

3校の生徒で構成されたブレイクアウトルームで、3県の特産品を掛け合わせた『修学旅行生に人気のお土産』を考えていただきました。考えたお土産は全体発表を行い、生徒による投票を経て、一番買っていたいお土産No.1が選ばれました！



3rd STAGE ~発表動画の制作~

2nd STAGEに参加した30チームが作成した発表動画をもとに、審査員による審査が行われ、10チームがFinal STAGE進出となりました。

Another STAGE ~ Final STAGEへの復活を賭けた、オンライン発表~

今年度新設の本ステージには、惜しくも3rd STAGE通過とならなかった20チームのうち13チームが参加し、各チームがオンライン上で発表しました。互いの良さを伝え合う交流も生まれ、温かい雰囲気の中、生徒投票で選ばれた1チームがFinal STAGEへ進出となりました。

参加8校 | 中高生60名



Final STAGE ~ 発表 & 他校生徒との交流・協働 ~



2026年2月22日(日)

東京大学伊藤謝恩ホール 12:00-17:00

参加8校 | 中高生43名

書類・動画審査/オンライン発表を勝ち進んだ8校11チームの生徒たちが、東京大学伊藤謝恩ホールに集まり、ステージ上で5分間の発表と審査員との質疑応答を行いました。また2nd STAGEに続き、他校生徒との交流会として「SDGs×観光まちづくり」ビジネスカードゲームに参加していただきました。

Final STAGE進出校

※以下、発表順で記載

- | | |
|----------------------------|--------------------------------------|
| 01 成立学園高等学校 ▶ 元Bトリオ | 07 昌平高等学校 ▶ 杉戸の魅力調査隊 |
| 02 岩田高等学校 ▶ Oita Vital | 08 福井県立金津高等学校 ▶
あわら市ハザードマップ制作グループ |
| 03 昭和学院高等学校 ▶ 森のヒグマさん | 09 星野高等学校 ▶ ちぎれた結束バンド |
| 04 西武台高等学校 ▶ ミライノワ | 10 西武台高等学校 ▶ 福タク |
| 05 福井県立金津高等学校 ▶ ⑨(まるきゅー) | 11 昭和学院高等学校 ▶ Potatoman |
| 06 北海道岩見沢東高等学校 ▶ CyberEdge | |

審査員

※敬称略

- 加藤 諒 (国立大学法人 一橋大学大学院 ソーシャル・データサイエンス研究科 准教授)
仙田 直人 (成蹊中学・高等学校 校長) / 松本 慕美 (株式会社白草 代表取締役)
田中 康平 (株式会社ネル・アンド・エム 代表取締役)
高野 満博 (一般社団法人次世代教育ネットワーキング機構 理事・事務局長)

他校生徒との交流会

~ SDGs×観光まちづくり ~

SDGs の考え方をヒントに、地方創生における「全体性」や「対話と協働」の重要性を体感的に学ぶことが出来る「SDGs×観光まちづくり」ビジネスカードゲームを実施しました。参加者は他校生徒とペアになり、役割や社会におけるゴールに向けて、積極的にコミュニケーションを取る様子が見られました。

SDGs
× 観光
まちづくり



受賞者

昨年度に引き続き、JTBツーリズムビジネスカレッジの学生も審査に参加し、学生目線から見て発表内容に共感できたチームに「JTBツーリズムビジネスカレッジ賞」を贈呈しました。また審査員による審査もスコアが僅差だったため、そして金・銀・銅賞に準ずる結果を納めた2チームに「審査員特別賞」を贈呈することとなりました。



【学校名】 昭和学院高等学校
【チーム名】 Potatoman
【キャッチコピー】「白い絶景」の裏の危険
正しい知識を身につけ、解決せよ



【学校名】 岩田高等学校
【チーム名】 Oita Vital
【キャッチコピー】
VR で医療を身近に、未来の医療従事者を育てる



【学校名】 西武台高等学校
【チーム名】 福タク
【キャッチコピー】
つながる道が、未来を運ぶ



【学校名】 星野高等学校
【チーム名】 ちぎれた結束バンド
【キャッチコピー】
一番街のその奥へ、あなたの知らない川越へ。



【学校名】 福井県立金津高等学校
【チーム名】 ㊟(まるきゅー)
【キャッチコピー】
福井の観光産業を鉄道で元気にしよう!



【学校名】 昭和学院高等学校
【チーム名】 森のヒグマさん
【キャッチコピー】
さっぽろヒグマ特別計画 2025
～ヒグマと共生するために～

I 審査員総評より

探究は「結果を出すため」ではなく、**考え抜き、考え続ける力**を育てる学習です。今回の皆さんは、その考え続けた力をもって、**0(ゼロ)から1(イチ)を生み出す“0 to 1”(ゼロトウワン)の発想**を実際に私達に示してくれました。AIは、1の課題を100や1000にも広げることができますが、0から1をすることはできないのです。それは、人だけが持つ創造の力です。今回の探究で得た学びを土台に、ぜひ次は**新しい課題に向かって一步を踏み出し、自分独自の“0 to 1”**を達成して下さい。皆さんの挑戦がこれからも続くことを心から期待しています。

(審査員 成蹊中学・高等学校 校長 仙田直人)



【お問い合わせ先】

未来探究祭 運営事務局

(株)JTB 企画開発プロデュースセンター内

担当：太田・濱野・玉木・齊藤・小野

メール：miratan01@jtb.com

電話：03-6704-5527

未来探究祭

